

多摩支部会報第 61 号

2024 年 7 月 1 日発行

多摩支部第 21 回定時総会の開催

明治大学校友会東京都多摩支部

第 21 回定時総会の開催にあたって

多摩支部長のご挨拶

多摩支部長 土屋栄一

紫紺の旗の下、校友の皆様がもっと地域支部にご加入いただき、そして、もっと地域支部を超えた活発な地域間交流を進め、より大きく、より深い多摩支部の絆を築いていこうではありませんか！

昨年 20 周年を迎えた多摩支部は、次の 30 周年に向けたスローガンを掲げ、新たなスタートを切りました。それは、「明治はひとつ、3C で繋ごう多摩支部の絆」というものであります。

3C とは、Contact 校友の皆様同士が互いに顔と顔を合わせ、Communication 交流を図り、Consensus 「母校の支援と校友相互の親睦・支援」という校友会の目的実現に向け絆を深めていこうという意味が込められております。校友会本部の 2023 年活動計画においても「会員相互のコミュニケーションの活性化に取り組んでいくことが重要である」とある通り、会員同士、顔を合わせてのコミュニケーション、地域支部を超えた地域間交流は今後も重要であると考えております。

多摩支部は、21 の地域支部から構成されておりますが、それぞれ規模も歴史も違います。私自身、出来るだけ地域支部の情報交換に参加しておりますが、皆様それぞれの方法で校友会発展の為に必死で頑張っておられます。

私は、校友会は地域支部ファーストであるべきと考えております。それぞれの個性で活動されればよいと思います。しかし、皆さんは、明治大学という絆で繋がっております。

多摩支部管内およそ 25,000 人の校友が居住しており、その内、各地域支部加入の校友会員数は、凡そ 1,800 名、約 7% です。

高齢化や女性、若年層の少ない事等課題はあると思いますが、2 万人以上の未加入の校友が多摩支部にはおります。どうか皆様、この課題解決に是非ご協力ください。会員拡大に力をお貸し下さい。そして、より大きな、より深い多摩支部の絆を築いていこうではありませんか！

MEIJI UNIVERSITY
GRAND DESIGN 2030

前

「個」を磨き、
ともに持続可能な社会を創る

明治大学校友会 東京都多摩支部 第21回定時総会 次第

日時:2024年(令和6年)6月23日(日) 於:ホテルエミシア東京立川 4階カルログランデ

(敬称略)

第一部 公開講演会

司会 内川 晃一

- 13:00～ “ゴルフライフはまさにセレンディピティ”
公益財団法人日本ゴルフ協会 専務理事 山中 博史

第二部 総会

司会 西海ひとみ

- 14:15～
- 開会のことば 小島 秀治 第21回総会実行委員会 委員長
 - 支部長挨拶 土屋 栄一 支部長
 - ご来賓紹介
 - 明治大学代表ご挨拶(大学の近況説明等) 竹本 田持 明治大学教務担当常勤理事
 - 明治大学校友会本部代表ご挨拶 松本 穰 明治大学校友会相談役
 - 議長選出
 - 議事録署名人指名
 - 議事
 - 第1号議案 明治大学校友会東京都多摩支部 土井 隆夫 総務委員会委員長
会則の一部改定について
 - 第2号議案 2023年度事業報告承認の件 江面 利和 幹事長
 - 第3号議案 2023年度収支決算報告承認の件 佐藤 剛 財務幹事
2023年度監査報告 杉田 信 監査委員
 - 第4号議案 2024年度活動計画案承認の件 江面 利和 幹事長
 - 第5号議案 2024年度収支予算案承認の件 佐藤 剛 財務幹事
 - 閉会のことば 高玉 茂男 第21回総会実行委員会 副委員長

第三部 懇親会

司会 高玉 泰子

- 16:00～
- 開会のことば 土屋 栄一 支部長
 - ご来賓祝辞 明治大学理事長付特任アドバイザー 岩田 守弘
 - ご来賓祝辞 校友会東京都西部支部 支部長 小川 廣男 東京都5支部代表
 - アトラクション 明治大学体育会少林寺拳法部 演武 少林寺拳法部4人
 - ご来賓乾杯 東京都多摩地区父母会 会長 鈴木 豊
 - 歓談
 - 校歌斉唱
 - 万歳三唱 明治大学“万歳” 土屋 栄一 支部長
明治大学校友会多摩支部“万歳” 竹本 田持 明治大学教務担当常勤理事
 - 18:00 閉会のことば 小島 秀治 第21回総会実行委員会 委員長

第21回定時総会実行委員会 (小金井・武蔵野・三鷹・東久留米・稲城各地域支部)

委員長 小島 秀治 (小金井地域支部 支部長)

副委員長 高玉 茂男 (三鷹地域支部 支部長)



多摩支部
第 21 回定時総会

多摩支部役員集合写真



総会実行委員会



小島実行委員長



司会：西海ひとみ



司会：高玉泰子



山中博史 様



少林寺拳法部 演武



明大祭実行委員会



来賓の皆様



明治はひとつ、3Cで繋ごう多摩支部の絆

撮影：若村和之



第6回 21 地域支部を知ろう写真でスタンプラリー

江戸～昭和の名残を色濃く残す町・青梅の市街地を
ディープにご案内 ～青梅地域支部～

6月16日（日）、青梅地域支部のご支援を得て、8地域支部（青梅・村山・小平・福生・日野・国立・東久留米・あきる野）23名のご参加を頂き開催いたしました。

今回は、午後開始の形をとり、青梅市内散策、中華会食、ホテル散策の3部構成で実施しました。まず「青梅市内散策」①では、青梅駅舎が築100年で「竹筋コンクリート」構造であった（大正期の建築当時）との紹介に始まり、路地裏②を巡って商店街に至り、間口の狭い古い商家内を通過して「奥の土蔵」に案内され、「映画館跡地」③では、映画館の隆盛と映画看板の由来を伺って、青梅のかつての活発な人の往来に思いを馳せました。

「住吉神社」④では、町衆の建てた社殿に対する青梅市民の誇りと江戸気質を伺い、昭和初期の国会議員邸宅「津雲邸」⑤では、秀麗な建物調度と書院造の柔らかな光、欄間額の犬養毅の直筆書などに感銘しました。「宗建寺」⑥では、歩き疲れた我々に冷たい緑茶が振舞われ、温和ながら眼光鋭い住職様の丁寧なご案内のもと「座禅体験」に挑みました。会食は、青梅駅近くの老舗中華「偕楽」で、店主の奥様（明治OG）のご縁に感謝しつつ中華料理を楽しみました。会食後半には、明大出身のホテル研究家の井上務様⑦による楽しい講義を受け、見識を高めたうえで、青梅地域支部様のご手配の車に分乗して、ホテル散策に出かけました。大荷田川エリアでは、井上様の現地解説を聞きながら「一番ホテル」を待ちました⑧。19:30過ぎから期待通りホテルが光り始め、さらに上流では多くの光が高く低く身近にも飛び、まさに貴重な体験となりました。20時過ぎに終了し、最寄り駅までお送りいただき解散しました。（文章の番号は、下記の写真の番号です。）



①



②



③



④



⑥



⑤



⑦



⑦



⑧

地域支部だより

国立地域支部・国分寺地域支部

田植え

明大会田圃処

国立地域支部・国分寺地域支部共催

国立産もち米づくりは、2017年に校友沼崎さんの全面バックアップにより発足、今回で8年目を迎えました。6月15日（土）、国立・国分寺・小平・あきる野地域支部の4地域支部18名の参加で、沼崎校友所有の国立の田圃で田植えを行いました。晴天の下、水がはられた田圃に素足や靴下などをはいて入った。一列に並んで、苗をおぼつかない手で泥の中に1株1株植えつけました。秋には、黄金色の豊かな稲穂になれよと願いながら。10時に始まった「田植え」も終わり、腹も減ってきたところで、昼食は、近くの国立市「城山さとのいえ」に場所を移し、取ることになりました。この昼食会では、「田植え」の世話人の沼尻さんが腕によりをかけて作った総菜が振舞われました。疲れた体に、このプロの味が染みわたり、大感激です。写真とメニューを載せましたので、ご覧ください



2024 6.15 田植え食事会メニュー

- ① 朝食 国立サンバーワンの矢川駅前宿園の33にぎり(餅と梅干し)と甘い菓子焼きです
- ② トマトサラダ 高引き後湯ききみを詰めレタス「緑」トマト「赤」ドレッシング「白」と見た目も楽しんでください
- ③ BBQ スベアリアップ スベアリアップ用の豚肉をトマトケチャップ・醤油・いちごジャム・カレー粉・塩・にんにく・しょうがのたれで 焼付け込み焼き上げたもの
- ④ ツナ豆腐ボール 豆腐・ツナ缶・菜の花、青のりを小麦粉と鶏挽肉でつなぎ、ふわっと軽やかに揚げたもの
- ⑤ デザート みたらし餅だんご だんごの正体は黍(こま)にやく
- ⑥ びわ 餅つききの釜戸でお世話になった土方さんの畑になった小粒のびわ、今年の初物です
- ⑦ 総菜



「田植え」後の次の予定は、「稲刈り」が10月14日（月）、「収穫祭」が12月15日（日）を予定しています。収穫祭では、5種のつきたて餅（あんこ・きな粉・ずんだ・大根おろし・納豆）+山形芋煮を堪能できます。皆様のご参加をお待ちしております。



地域支部だより—小平地域支部

周年記念公演は一本の電話から始まった！

(志の輔独演会 裏話)

小平地域支部の「創立 40 周年記念公演」においていただき、ありがとうございました。公演の締めとして、志の輔師匠の人柄を含め公演開催での裏話をご紹介します。

【序章】

2022 年秋に記念事業への第 1 回実行委員会が開催され、小平地域支部の 40 年の歴史の区切りと会員数拡大を目的とした「記念公演の開催」と「記念誌の発行」の 2 事業が決定された。

公演（講演）については、明大マンドリン倶楽部・小平出身のスポーツ選手・明大校友の芸能人・有名人等の候補が上がったが、集客力と収支がネックであった。それは、過去に企画開催した公演で幹事が自腹を切る結果となったトラウマが頭をよぎったのかもしれない。

【出演交渉と志の輔の思い】

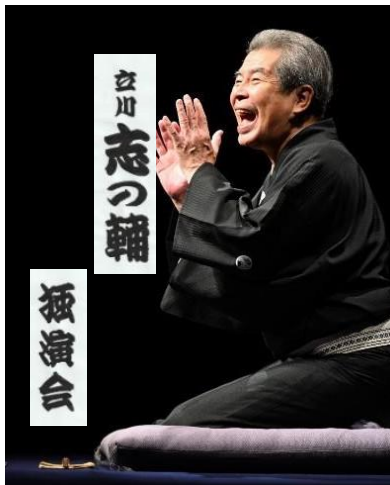
「芸能人を呼ぶなんて、お客が入らなかったらどうするんだ！」との反発も多かったが、ダメ元で連絡した一本の電話が「志の輔独演会」の始まりだった。

☎「もしもし、うちの校友会で独演会してくれないか？ 再来年の 5 月で創立 40 周年なんだ、記念公演として独演会をしてくれると有難い！」

(志の輔) → 「周年記念の公演依頼を断るわけ行かないな！ いいよ！」「再来年の話だろ、空けとくよ！」・・・☎「ほんとにいいのか？ 金はあまりないよ？」

(志の輔) → 「いいよ、余った金で！」「ルネこだいらか？ 舞台スタッフはこっちから連れて行くので、チャンとするからな！」「お前は段取りだけしてくれ、あとはこっちでやるよ！」

後日、志の輔事務所から連絡があり、独演会に対し志の輔から 2 点の要望を受けた。



1) 公演は、一般客を入れないで「明大校友と関係者」だけにしてほしい。

・理由は、一般の志の輔独演会では「落語好き・志の輔ファン」が多い、しかし、校友の中には落語を嫌いな人もいるかもしれないし義理の方もいる。どちらも大切なお客様なので、気を遣わせることになるので一緒にはできないと思っている。

2) ホールは、大ホールでなく小さいホールにしてほしい。

・理由は、大ホールでは 2 階席や遠くから観ても「落語の嘶のしぐさ」とか「独特のタイミング・目くばせ」がわからない。いつも思うが、真剣に本当の落語を演じたいし お客様にも観てもらいたい、また、落語のファンになってほしい。

・・・次も「志の輔落語を聴きに行きたい！」と思ってほしい。

【満席にする苦労と校友の協力】

今回の最大の課題は集客であった。志の輔の意向は尊重するが、校友だけで満席になるのかな？ という不安であった。・・・案の定、小平校友だけでは半数にも至らない状況であった。以前、ルネこだいら一般公開で大ホールにて開催された「志の輔独演会」は、発売後すぐ満席となっていたので、本音を言えば小平校友に対し少しがっかりしたし残念な気持ちは残った。

◎本来からすると、小平校友の為の記念公演ではあったが PR 不足なのか、志の輔の人気はたいしたことはなかったのか？ 残念ながら一次募集は不調に終わったのだった。

ここからは、集客活動に実行委員を駆りだし、関係の校友会各支部へのお願いは元より、母会・友人・知人・親戚を動員して集客作業を展開した。特に「数少ない若手メンバー」には頑張ってもらった。 ※寂しいのは、年齢を重ねると交際範囲は減り人脈は少なくなることである。その点、若手は交遊範囲が広いので その気になった若者は、驚くほど積極的になるものである！
 ・・・・将来の校友会小平地域支部も安泰だと、胸をなでおろす協力を得た瞬間であった。

結果して、小平校友・幹事・校友会多摩支部の各地域支部・他支部の知人や友人のおかげで、何とか校友会小平として面目の立つ「ほぼ満席（残席 16）」となって開演を迎えることとなった。

【独演会当日の校友スタッフの活躍】

10:30 に公演に協力する校友スタッフの全体朝礼を行った。集まった校友スタッフの顔は引き締まり、「とうとう この日が来てしまった！」と皆でドキドキしながら成功を胸に誓い、各担当部署に散っていったのです。 ・駅の改札前で立つ者 ・炎天下に明大のぼりを掲げる者 ・受付で大切なお客様を待つ者 ・開場案内をする者 ・アナウンス嬢 等々。

小平校友幹事は応援幹事を含め一体となって、記念公演を盛り上げるのでした。拍手喝采！！



【緊張の開演前の舞台裏】

当日に落語家立川志の輔のプロを実感したことがあった。
 ◎開演前の緊張した志の輔の「ステージチェック」である。

志の輔自身が客席中央に座って、弟子を高座に上らせ、
 ① 舞台設定（舞台の高さ・毛氈のしわ・配置・めくりの場所・座布団の位置・等々） ② 照明設定（開演時の明るさ・色合い・落語時の明るさ・スポットの位置/色合い・等々） ③ 音声設定（音の響き・音量・音質・等々） 何と 30 分以上にかけて、チェックをする念の入れようである。スタッフは一言一言にピリピリしながらセットしていく。・・・志の輔師匠の真剣な顔にプロ意識/職人を感じた一コマであった。

【公演終了】

独演会では志の輔の話術を皆様にご感動していただき、成功裏に終演を迎えることができました。志の輔も、とっても良いお客様だったと感謝しており、私もホッとしたのでした。

お客様・校友各位・校友スタッフ（小平校友幹事役員）・アライ印刷・落研仲間・忘れてはならない立川志の輔師匠 等の皆様を支えられて成功できた公演と言えます。

改めまして、皆様のご協力・ご支援に感謝を申し上げて「公演(裏話)報告」を終わります。

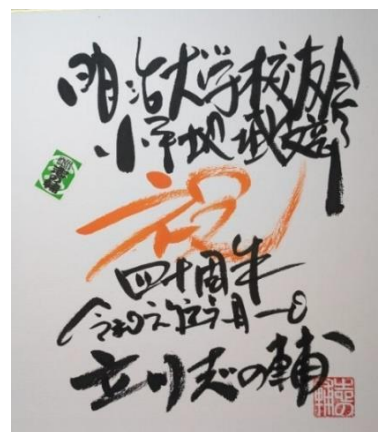
みなさま、ありがとうございました。

明治大学校友会小平地域支部
 支部長 小出 巧



記念の集合写真

スタッフが中心で 志の輔 はどこにいるの？



志の輔師匠の色紙

地域支部だより～国分寺地域支部（ご案内）

国分寺地域支部主催

2024年 10月5日（土）

第15回歴史探訪

多摩支部地域間交流プロジェクト企画

多摩地区の歴史に触れあうウォーキング、今年もスタートします。皆様をご案内するのは、国分寺地域支部副支部長で学芸員の小林信夫（昭49・文）です。



2012年から14回にわたる「歴史探訪」を自らの足で調査・企画し、多摩の歴史の歩みの現場をウォーキングを通じて、皆様に紹介してきました。

今回の「歴史探訪」は、清瀬市で「清戸～下宿～柳瀬川～中里」ウォーキングです。



今回のウォーキングのコースを少しご紹介いたします。



- ① **中清戸地域の日枝神社**～清戸という地名の由来となった「ひいらぎ伝説」が伝わる木が境内にある。志木街道に面し、樹齢400年を超える杉の大木などの木立に囲まれる。左側に水天宮があり、安産の神様として近隣からの参詣が盛ん。



- ② **柳瀬川にかかる城前橋を渡り「滝の城跡」**～本丸跡から清瀬市域が一望。この城は狭山丘陵の急崖上に築かれた戦国時代の平山城で北条氏照の持城と考えられ、滝山城の支城と言われている。（埼玉県指定史跡）



- ③ **下宿八幡神社**～この下宿の「ふせぎ」行事（東京都指定無形民俗文化財）旧清戸下宿村の住民が毎年5月1日に藁で作った大小の蛇を旧村境に取り付け疫、病や悪霊が村に侵入しないように祈願する行事で、江戸時代の終り頃から行われている



- ④ **中里の富士塚**（東京都指定有形民俗文化財）享保18年（1733年）に清瀬に富士講が伝わる。文政8年（1825年）に塚を再築し、明治時代の初めに2m程嵩上げされ、高さ9m程となる。今日でも富士登山や火の花祭りなどの講行事が継続されている。

開催概要：開催日：2024年10月5日（土）、集合；午前8時半・西武池袋線清瀬駅北口バス乗り場付近、解散；午後1時頃・西武池袋線清瀬駅北口、終了後駅近くで懇親会（自由参加）
定員；20名（家族・友人・知人大歓迎）、費用；500円（当日集めます）
申し込み先：国分寺地域支部幹事長 佐々木一郎（昭44・商）
090（4825）0530 まで
締切り：9月30日（お早めにお申し込みください）

～多摩支部の皆様のご寄稿から

私の定年後 18 年間の足跡をたどって

中村邦彦（小平地域支部、昭 43・経営）

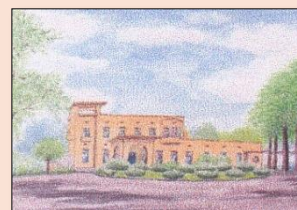
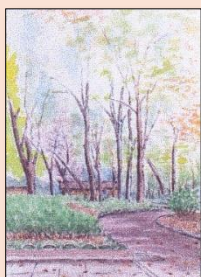
大学卒業後、サラリーマン（清涼飲料製造/販売会社）生活 37 年余り、自宅のある小平市と都心にある勤務先の往復で地元との交流は殆ど無く、どうしたら定年後に楽しく充実した時間を持てるかと思案しておりました。もともと絵や文字を書くことが好きでしたので、スケッチグループに入会したのが始まりで、その後の活動の一つひと

つの詳細説明は割愛し、主としてこれ迄のアートを中心とした約 18 年間の中身について画像を中心とした形で、その概要を表してみました。（現役時代から取り組んでいたものも含まれます。）

ご覧になられて皆様のハートに少しでも響くものが有ればとても幸せです。

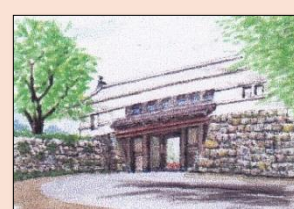
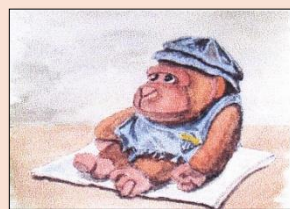
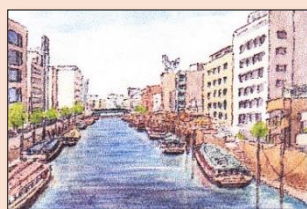
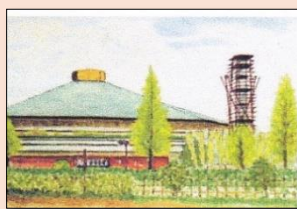
① 2005 年定年退職、2006 年スケッチグループ入会、現在も活動中。

◇年 1 回、地元小平中央公民館で「作品展」開催（次の 4 点は今年 4 月の作品展出展作品）



（左から、小平中央公園、喜多院鐘楼門、昭和記念公園、東京都庭園美術館）

② 読売新聞「気流」欄に投稿し、掲載されたもの（これまで 27 回の掲載）



（左から、両国国技館、柳橋船溜り、ゴリラの縫いぐるみ、田安門）

③ 国際扇画展に出品（2006 年～9 年間）

◇国際扇画展は現在、実施されておられません。歴史ある（第 1 回は 1980 年）ものでした。毎年桜の咲く 4 月初めに「東京都美術館」で開催されておりました。

絵画、ちぎり絵、漢字、かな等の部門に分かれており、日本全国及び海外からの出品があり、合わせて 500 点以上の展示で、毎回、会場は盛況で華やかさがありました。

（左から、特選の宙、秀作のネクタイ、佳作のダイス、理事の先生と共に）



- ④ 読売新聞 多摩版の「絵手紙コーナー」に投稿し、掲載されたもの（これまで24回掲載、なお、現在はこのコーナーはありません。）



- ⑤ 私がこれまでに描きためた様々な作品と、妻・和子の植物画（ポタニカルアート）や手芸作品等と併せて夫婦の二人展を地元のグリーンロード沿いのギャラリーで開催（2014年4月）～それぞれの名前の頭文字をとって「KK二人展」としました。



- ⑥ 2021年春より、昔とった杵柄でギターサークルに入会しました。（弾き語り）

◇年に2～3回地元の公民館で、「歌声ひろば」と称し、私達の伴奏で参加者の皆さんと共に唄うライブ活動をしています。曲目は、誰でも知っている昔懐かしい曲やフォークソング等で、たまに演歌もやります。以前は、介護施設等を訪問し、演奏していたのですが、コロナ禍依頼自粛状態です。

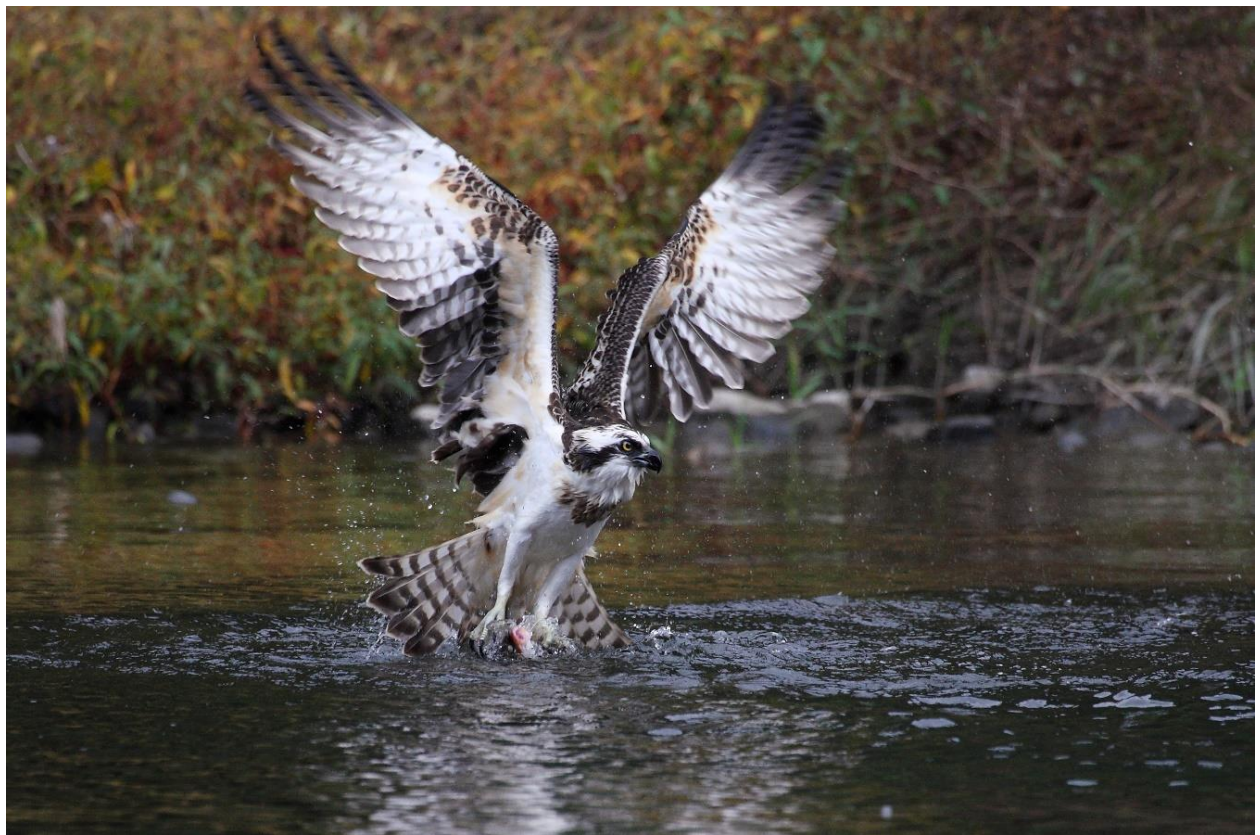




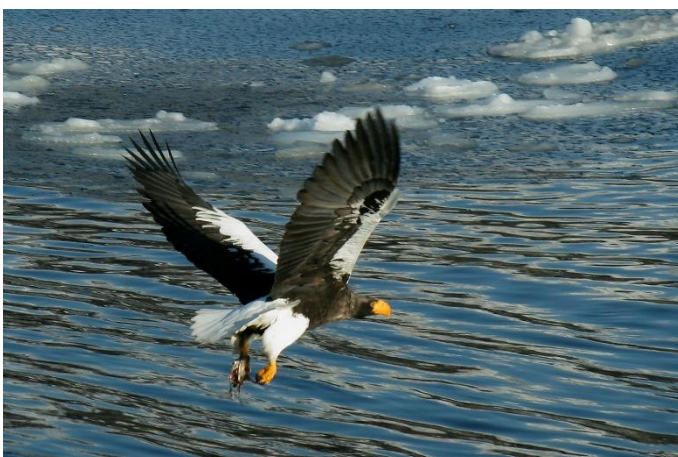
餌探し「コミミズク」 2月 渡良瀬遊水地



大空飛翔 「イヌワシ」 8月 伊吹山



大物ゲット 「ミサゴ」 10月 横浜市金沢区船溜まり公園



流氷を行く 「オオワシ」 2月 北海道・知床



餌ゲット 「カワセミ」 7月 多摩川・関戸



明治大学校友会多摩支部の皆様へ

MEIJIRO SHOP オープン
ぜひお立ち寄りください

明治大学オフィシャルグッズショップ

明治大学駿河台キャンパス
グローバルフロント1階

**MEIJIRO
SHOP**
MEIJI UNIVERSITY



[営業時間]

OPEN 10:00-17:00 通常平日

10:00-16:00 通常土曜

CLOSE 日曜・祝日

PICK UP!

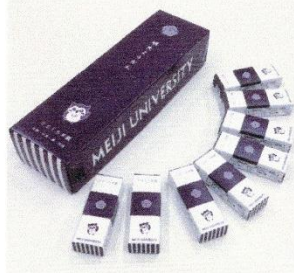


Meiji tea (LUPICIA)

クラシックティー／フレイバードティー
ティーバッグ8個入り2缶セット



¥2,800



明大ようかん (8本セット)

練・小倉・栗・抹茶の
4種類のようなんをセットにしました。

¥2,350

ネットショップからもご購入できます！

明大グッズオンラインショップ

<https://meidaigoods.net/>

明大グッズ



MAP

どなたでもご利用頂けますので、ぜひお立ち寄りください！



公式HPはこちら▽



〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台2丁目1

明治大学グローバルフロント1F

[お問い合わせ]

☎ 03-6281-3131

✉ mejiroshop@meidai-support.com

今までも、そしてこれからも。
明治の今を追い続ける。

明大スポーツ 新聞部



公式Instagram

@meisupo_photo

公式X(旧Twitter)

@meisupo

公式
YouTube
⇒⇒⇒



こちらから！
定期購読は



明治大学校友会 多摩支部の皆様へ

明大スポーツ新聞部を 応援してください





おいでませ
お接待の心
うどん県。



第60回 明治大学全国校友

香川大会

2024.9/28(土)・29(日)

9/28(土)

■ 支部長・幹事長・地域支部長・本部員懇談会

15:00～16:30

【会場】JRホテル クレメント高松

■ 前夜祭 17:30～19:30

【会場】JRホテル クレメント高松

9/29(日)

■ 記念式典 13:30～14:45 【会場】サンポートホール高松(大ホール)

■ 記念講演会 パネルディスカッション

15:00～16:10 【会場】サンポートホール高松(大ホール)

テーマ「香川の歴史、文化そして未来」

- パネリスト 香川県知事 池田 豊人 / 高松大学学長 佃 昌道
- コーディネーター 香川県観光大使うどん県副知事 木内 晶子

■ 懇親会 17:00～19:00 【会場】JRホテル クレメント高松

主催／明治大学全国校友香川大会実行委員会

【お問い合わせ窓口】(株)JTBビジネストランスフォーム 九州ビジネスサポートチーム 〒810-0072 福岡市中央区長浜1-1-35 新KBCビル5F TEL.092-751-2102